

アトリエ・ワムにご来聴の皆様にお知らせ申し上げます。

このたび、第35回「藤堂音楽賞」に、大嶋義実氏とともに河野美砂子さんが選ばれました。大嶋氏は、第9回、および第10回「アトリエ・ワム コンサート」に出演して頂きましたので、ご縁続きの受賞となりました。

← 毎日新聞 2016年1月7日朝刊

藤堂音楽賞に河野、大嶋さん

藤堂頭一郎音楽褒賞基金は、第35回藤堂音楽賞にピアニストの河野美砂子さん(59)(北区)とフルート奏者の大嶋義実さん(57)(下

京区)を選んだと発表した。音楽文化の向上に貢献した府ゆかりの個人・団体を1981年から表彰している。

河野さんは、京都市立芸術大を卒業。87年には淡路島国際室内楽コンクールで優秀賞を受賞した。京都を中心に演奏会に出演する傍

ら、随筆や短歌など文筆活動でも才能を発揮している。

大嶋さんはウィーン国立音楽大卒業後、国内や欧米で公演を重ね、プラハ交響楽団、京都市交響楽団なども共演。プラハ放送交響楽団首席フルート奏者を務めた。市立芸術大教授として、後進の指導にも尽力する。

11日、上京区のホテルで授賞式を行う。

読売新聞 2016年1月8日朝刊 ↑

← 京都新聞 2015年12月26日朝刊

て、後進の指導にも尽力する。  
11日、上京区のホテルで授賞式を行う。

### 河野さん、大嶋さん受賞

京都の洋楽界で活躍 藤堂音楽賞に

京都の洋楽界で顕著な活躍をした音楽家を顕彰する今年の「第35回藤堂音楽賞」(藤堂頭一郎音楽褒賞基金主催)にピアノの河野美砂子さん、京都市立芸

大非常勤講師と、フルートの大嶋義実さん(57)が選ばれた。京都市立芸大音楽部長が選ばれた。11日、京都市内のホテルで授賞式がある。

河野さんは1979年、京都市立芸大卒業。ピアニストとして京都を中心に活発な演奏活動を続け、地域文化向上に貢献。95年に角川短歌賞を受けるなど、歌人としても知られる。

大嶋さんは81年、京都市立芸大卒業後、ウィーン国立音楽大に留学。国内外での活発な演奏活動に加え、教育活動にも熱心に取り組み、京都音楽界の振興に貢献をした。

【榊原雅晴】

### 伝統・文化



第35回藤堂音楽賞を受賞した上河野美砂子さん(左)大嶋義実さん

### 河野さん、大嶋さん

藤堂音楽賞に2人決まる

京都の音楽文化に貢献したアーティストらに贈られる藤堂頭一郎音楽褒賞基金の本年度表彰者に、京都市北区のピアニスト河野美砂子さん(59)と、下京区のフルーティスト大嶋義実さん(57)が選

河野さんは京都市出身。演奏会シリーズ「モ

ーツアルトに会いたい」「ベートーベンとの対話」や、ミニ演奏会付き講演会「秋に聞くバッハ」を手がけるなどクラシックの普及に尽力。歌人、随筆家としても知られる。

大嶋さんは、プラハ放送交響楽団首席フルート奏者などを経て現在、京都市立芸術大教授。1998年、「プラハの春国際音楽祭」に日本人フルート奏者として初めて招かれるなど、国内外で活躍している。

同基金運営委員会(藤堂稔之委員長)が京都音楽家クラブ会員の推薦をもとに関係者を顕彰し、50万円を贈っている。本年度で35回目。授賞式は1月11日に上京区の京都ブライトンホテルである。(斎藤英之)



大嶋義実さん

河野美砂子さん